



発行所 ☎730-0012
 広島市中区上八丁堀8番10号
 建設業労働災害防止協会広島県支部
 発行人 高見誠一
 TEL(082)228-8250
 印刷所 広島市西区東観音町3番8号
 中外印刷株式会社
 TEL(082)291-4646

定価 40円 送料 60円 毎月1回 10日発行 会員の方は会費に「建設防広島」の購読料が含まれています。 3月号

平成27年度

建設業 年度末労働災害防止強調月間

(期間 平成28年3月1日～3月31日)

労働災害防止活動を実施しています!!

本誌先月号にてご案内しました「建設業年度末労働災害防止強調月間」には当支部各分会において強調月間パトロールが展開されております。

広島分会では、3月2日に特別安全パトロールが実施され、当日は東区、西区、南区・安芸地区、中区、東広島の5つの地区でマンション新築工事、中学・高等学校講堂新築工事、社屋の新築工事現場等を分会役員、安全指導者、地区委員、広島中央署職員3名、支部事務局も加えて総勢40名でパトロールしました。

現場では、昨年7月から県内全域で取組が始まった「建設業フィンガー・チェック運動」の具体的な推進状況を始め、足場に関する昨年7月の安全衛生規則改正内容の確認、足場組立等特別教育の実施状況、プロジェクトが継続して実施される「転倒災害」の防止対策、昨年発生した3件の死亡災害に係る、墜落防止措置、移動式クレーンの吊り荷の下の立ち入り禁止措置、トラック等現場内車両機械のバック時の警報、誘導者の配置、接触防止措置など同種災害の再発防止対策が水平展開されているか、点検確認を行いました。

(パトロール風景)



県内の建設業における死傷災害は、昨年の速報値(1月末現在)で、前年同月比7件、2.2%減の311件となっており、死亡災害は3件で過去最少になっています。建設業の死亡災害にカウントされませんでした。警備業の熱中症、ガス会社の配管閉止作業中、掘削穴でのガス漏れ酸欠事故等が発生し、隣県では店舗敷地内の下水管掘削作業中の掘削溝が土砂崩壊し、2名の死亡を含む4名の死傷事故が発生しており、現場が忙しく、高齢化・若年技術者、技能者不足などによる災害リスクが依然高い状況に変わりはありません。

平成28年1月度の死傷災害が18件となり、昨年同月の9件から倍増しています。とりわけ墜落・転落災害が4件から7件と増加傾向にあり、減少から一転、労働災害の増加が懸念されていたところ、残念なことに、2月23日県内で家屋解体作業中、倒壊した屋根の下敷きになり40歳代の男性が死亡する災害が発生しました。

年度末、工期の追い込みに向けて現場が輻輳し、災害リスクが高まり、重大災害が全国的に多発する時期になります。工期が迫る現場の安全管理の徹底をお願いいたします。

目次

平成27年度建設業年度末労働災害防止強調月間 ... 1	建設工事一斉監督実施結果 5
化学物質管理のための「ラベルでアクションプロジェクト」がスタート! 2	災害事例に学ぶ 6
「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」による転倒災害防止運動の推進について 3	労働災害発生状況 7
斜面掘削工事に関係する皆様へ 4	講習・行事コーナー (平成28年3月～平成28年6月) 8

化学物質管理のための「ラベルでアクションプロジェクト」がスタート！

本年6月1日から640の化学物質に関するリスクアセスメントの実施が義務化されます。これに伴い、平成28年度から周知活動のための「ラベルでアクション」運動が展開されることになりました。

「努力規定」から「義務規定」に規制が強化される

化学物質の取扱いについては、「化学物質の取扱いで労働者に健康障害を生ずる恐れがあるものは予め有害性を調査し、必要な防止措置を講じる」規定が設けられておりました。その後平成12年に化学物質の「安全データシート（以下SDSという。）」の交付制度ができ、取扱事業者はその有害性を自ら調査しなくても、国際的に評価された有害性情報等がSDSとして提供され、適切な管理対策が検討しやすくなりました。平成17年に、有害性だけでなく危険性も含めての調査をするよう努力規定が改正されましたが、SDSを受け取った事業者が「危険性又は有害性の調査（リスクアセスメント）」を行っておらず、適切な対応が取られていないことや印刷業で多発した胆管がんの問題等から、この度今までの努力規定から、義務規定となって施行されることになりました。また、化学物質の取扱い労働者にも危険有害性が認識されるよう、「容器や包装へのラベル表示」と「リスクアセスメントの結果の周知」が義務付けされることになりました。いずれも平成28年6月1日より施行されます。

「ラベルアクション運動」が展開される

改正内容の周知と実効を上げるため、厚生労働省は平成28年度から「ラベルアクション運動」を展開することとしています。具体的には、施行日以降に出荷される640の規制対象物質（SDS交付義務対象化学物質）の容器や包装に「ラベル表示（GHSマーク；赤色のひし形枠内に黒色のシンボルを絵で表示したもの）」が行われることから、このマークがあったら、事業者はSDSの確認と、リスクアセスメントの実施状況を確認する。労働者はラベル表示を見たら、絵表示で危険有害性を確認するとともに、リスクアセスメントの結果を見て対策を実施する。例えば「腐食性」や「感嘆符」の絵表示を見たら、眼等に危険有害性があることを確認し、適切な保護メガネを使用するなど、ラベルを見たら何らかのリアクションを起こそうと呼びかけるものです。

加えて、指差呼称「建設業フィンガーチェック運動！」を連動させて、対策が確実に実行されるよう、工夫しましょう。

建設現場における有害物質取扱事例

県内の建設現場においても有害物質の取扱いで、第三者を巻き込む「異臭」騒ぎが発生したことがあります。（ビルの屋上屋根補修工事で防水用に塗布した溶剤を持ち帰る際、発熱化学反応で塗料缶から建屋内に異臭が漏れ、ビル内で勤務中の数人が体調不良で救急搬送された。）

SDSによる取扱い物質の有害危険性の内容確認と、リスクアセスメント、健康障害防止対策、対策の周知、ラベル表示の確認を行い、化学物質の適正管理を徹底しましょう。

詳しくは、支部ホームページをご覧ください。

「STOP！転倒災害プロジェクト2015」による転倒災害防止運動の推進について ～運動が本年から期間を定めず継続されることになりました！～

厚生労働省においては労働災害防止団体ともに、全産業における休業4日以上の災害件数の2割以上を占め、近年増加傾向にある転倒災害に着目した「STOP！転倒災害プロジェクト2015」を主唱し、各事業場における転倒災害防止対策に取り組んできました。

平成27年の全国の転倒災害の件数は、前年比で2.8%とわずかに減少となっていますが、転倒災害は依然として、休業4日以上の死傷災害の中で最も件数が多く、第12次労働災害防止計画の達成のためには更なる取組が必要になっています。

ちなみに広島県内でも全産業では、転倒災害が墜落・転落災害を抜き20.7%を占めており、このうち建設業でも、本年1月末現在の速報値で、前年同期より3件増加の31件となって死傷災害の10%を占めています。

このような状況を踏まえ、厚生労働省では、昨年取り組んだ「STOP！転倒災害プロジェクト2015」を、期限を設けずに継続することとし、本年から「STOP！転倒災害プロジェクト」として取り組むこととなりました。

重点月は2月と6月

2月は積雪や凍結による転倒災害が多く、転倒災害防止の現状と対策を調査審議しましょう。6月は安全週間の準備月間です。転倒防止のための対策の定着を確認しましょう。

一般的な転倒災害防止対策

作業通路における段差や、凸凹、突起物、継ぎ目等の解消

4S（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による床面の水漏れ、油漏れなどのほか、台車等の障害物の除去

照度の確保、手すりやすべり止めの設置

転倒危険個所の表示等の危険の「見える化」の推進

転倒災害防止のための安全な歩き方、作業方法の推進

作業内容に適した防滑靴やプロテクター等の着用の推進

定期的な職場点検、巡視の実施

転倒予防体操の励行

等創意工夫をお願いします。

県内建設業の転倒死亡災害事例

平成26年11月に、その他の土木工事業で、粉碎機をトラッククレーンに載せようと空き地において準備中、粉碎機上で転倒し、腹部を強打したと思われる死亡事案が発生しています。

くわしくは、当支部ホームページから「STOP！転倒災害プロジェクト」のホームページ、「STOP！転倒災害プロジェクト」のリーフレットをご覧ください。

斜面掘削工事に関する皆様へ

厚生労働省において、平成27年6月に「斜面崩壊による労働災害の防止対策に関するガイドライン」が発出されました。

- ガイドラインの概要 -

本ガイドラインでは、斜面崩壊による労働災害を防止するためには、日々変化する掘削中の斜面の状況を、点検により的確に把握するとともに、発注者、設計者及び施工者が同じ点検結果に基づいた斜面崩壊の危険性を共有し、対策を講じることを求めています。

斜面の点検者に対する安全教育を開催します！

崩壊を予測することが難しい斜面を点検するには、本ガイドラインと併せて策定された「斜面の点検者に対する安全教育実施要領」による「斜面の点検者に対する安全教育」を受講した、一定の知識を有する点検者が実施することが求められます。

建災防広島県支部では、斜面の点検が適切に実施されるよう、「斜面の点検者に対する安全教育」を開催し、点検者に対し必要な知識を付与します。

- 対象者 -

- ・ 斜面の設計に従事する方
- ・ 元請事業者となる総合工事業者の現場担当者又は現場所長等
- ・ 関係請負人等となる専門工事業者の職長、作業主任者又は監視担当者等
- ・ 斜面の点検を行う調査者

カリキュラム

科 目	時 間
ガイドラインの趣旨・目的 建災防独自	15分
斜面掘削工事での労働災害発生状況等	30分
斜面崩壊の危険性に係る情報の共有による労働災害の防止	30分
点検表の使い方及び解説並びに点検表等への記載例	90分
点検結果に基づく措置	60分
関係法令	30分
	計255分

< 開催日時：開催場所：募集定員 >

広島会場：平成28年8月3日（水）13：00～17：30

中特会館3階会議室（広島市中区幟町3・57） 定員50名

福山会場：平成28年10月12日（水）13：00～17：30

福山土木建築会館 会議室（福山市若松町8・2） 定員50名

< 修了証 > 受講修了者には、修了証を交付いたします。

< 受講料 > 会員...5,400円 非会員...6,500円（別途テキスト代2,060円）

< 申込方法他 > 申込書を受講料・テキスト代ともに支部宛に現金書留でご郵送いただくか、直接ご持参ください。
申込書は、当支部ホームページからダウンロードできます。

建設業労働災害防止協会広島県支部 Tel：082-228-8250 Fax：082-211-3499

（〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀8・10 クロスタワー2F）

広島労働局

建設工事一斉監督実施結果（平成27年12月1日～25日実施）

工事別 対象現場数等	土木工事			建築工事			その他 (設備工事等)			合 計		
	元請	下請	合計	元請	下請	合計	元請	下請	合計	元請	下請	合計
監督実施現場数	23			92			13			128		
何らかの違反が認められた現場数	13 (56.5%)			57 (62.0%)			8 (61.5%)			78 (60.9%)		
違反事業場数	元請	下請	合計	元請	下請	合計	元請	下請	合計	元請	下請	合計
	12	14	26	57	88	145	7	13	20	76	115	191
(違反率)	56.5%			62.0%			53.8%			59.4%		

主な事項別の違反状況(違反事業場数)

工事別 違反内容	土木工事			建築工事			その他(設備工事等)			合 計		
	元請	下請	合計	元請	下請	合計	元請	下請	合計	元請	下請	合計
元請・注文者の責務、 統括管理等	9		9	48		48	6		6	63		63
足場・通路・作業床等 (墜落防止措置)	3	4	7	25	47	72	3	3	6	31	54	85
車両系建設機械	5	5	10	1	7	8	0	0	0	6	12	18
クレーン等	1	4	5	2	4	6	1	3	4	4	11	15
作業主任者	0	1	1	0	11	11	0	6	6	0	18	18
就業制限	1	0	1	0	2	2	0	0	0	1	2	3
特別教育、雇入時教育等	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
感電防止	1	1	2	0	5	5	0	0	0	1	6	7
粉じん、有機溶剤等 労働衛生関係	0	1	1	0	6	6	0	2	2	0	9	9
その他(安衛法)	2	1	3	8	13	21	2	1	3	12	15	27

災害事例に学ぶ**バックブザー鳴らず後退したトラックに轢かれる**

昨年7月県内の送電線新設工事現場で、管理用写真を撮影中、後進した同僚の運転するトラックに轢かれ死亡する災害が発生した。前日の夜間工事に使用した際、近所迷惑になるため、バックブザーのスイッチを切って作業したため、事故当日スイッチを元に戻し忘れ、バックブザーが鳴らなかったことも一因だった。

10月には徳島市で目の不自由な男性が盲導犬と一緒に市道を歩いている、市道脇の資材置き場にバックで入ろうとしたダンプに両方が轢かれて死亡した事故でも、バックブザーが鳴らない状態になっていた。貨物自動車、ダンプカー等車両系荷役運搬機械には、クラクション等の警報装置の備え付け義務、始業点検義務があるが、バックブザー、バック警報音声のほか、バックモニター等後進時の事故防止装置は明確に規定されていない。

同様の事例は、平成26年にも県内で発生し、道路舗装工事現場で路面の厚みを被災者が写真撮影中、後退してきたダンプトラックに轢かれ死亡した。

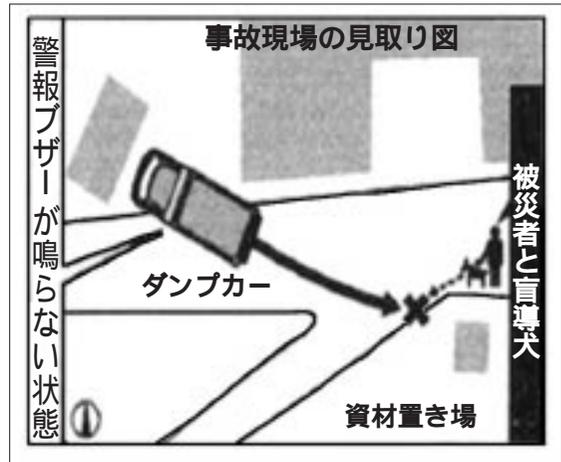
このような、「写真撮影中」に、「後退してきたトラック」に、「轢かれる」という災害発生には、誘導者の配置、立ち入り禁止措置、或いは警報装置の使用、始業点検による安全関係装置の動作確認等基本的な対策が徹底されていない場合がある。

これらの災害の原因と対策としては、次の点が考えられる。

1. 運転者、オペレーターがトラックやダンプをバックさせ、旋回させる際に後方を確認せず、又は確認したが被災者が死角の位置にあり、被災者を確認できなかったこと。
2. 現場内を誘導者なしでバック、旋回したこと。
3. 作業計画の作成と周知、作業開始日の危険予知活動の不徹底があったこと。
4. バックブザー、クラクション等の警報装置の使用が確実に行われなかったこと。
5. 写真撮影者は自分の作業を運転者、オペレーターが見ているだろうと過信したこと。

再発防止の対策としては、以下の点が考えられる。

1. 現場内でダンプトラック等車両系荷役運搬機械を使用する場合、予め作業計画を作成し、関係労働者に周知すること。
2. 警報機、バックブザー、バック警報音声装置、バックモニター等の始業点検を行い、有効に使用できる状態を維持させること。
3. これら機械との接触防止のため、立ち入り禁止措置、誘導者の配置等を行わせること。
4. 誘導者を配置した場合、必ず誘導者の指示に従い、運転者と誘導者間の合図にグー・パーを出し合う「グー・パー運動」を取り入れる等の対策をとること。
5. KY活動に車両系荷役運搬機械との接触防止対策を取入れて訓練すること。



(朝日新聞より掲載)

平成26年・27年 建設業における事故の型別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成28年1月末)

事故の型別	墜落転落	転倒	激突	飛来落下	崩壊倒壊	突かれ	はね巻き	切れこすれ	踏み抜き	高温・低温の物との接	有害物質との接	感電	火災	交通事故	動作の反動	その他	合計
平成26年	(2) 104	(1) 28	13	36	10	(2) 17	(1) 33	(1) 34	1	8	2	1	0	(1) 13	16	2	(8) 318
平成27年	(1) 115	31	17	(1) 32	10	15	(1) 32	28	3	0	1	0	0	11	18	0	(3) 311

()内は、死亡の内数

平成26年・27年 全産業・建設業・署別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成28年1月末)

監督署別	全 産 業							建 設 業							対前年増減数 (%)	対前年増減数 (%)	建設業 / 全産業 (%)
	平成26年			平成27年			増減数	平成26年			平成27年			増減数			
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計				
広島中央	7	832	839	8	863	871	32	2	88	90	2	85	87	-3	-3.3	10.0	
呉	3	253	256	1	256	257	1	0	29	29	0	30	30	1	3.4	11.7	
福山	6	583	589	4	599	603	14	2	63	65	0	66	66	1	1.5	10.9	
三原	2	167	169	3	144	147	-22	2	18	20	0	22	22	2	10.0	15.0	
尾道	1	201	202	1	204	205	3	0	26	26	0	24	24	-2	-7.7	11.7	
三次	3	182	185	2	158	160	-25	1	24	25	0	20	20	-5	-20.0	12.5	
広島北	1	312	313	2	325	327	14	0	35	35	0	42	42	7	20.0	12.8	
廿日市	1	256	257	2	260	262	5	1	27	28	1	19	20	-8	-28.6	7.6	
合計	24	2,786	2,810	23	2,809	2,832	22	8	310	318	3	308	311	-7	-2.2	11.0	

平成27年・28年 建設業における事故の型別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成28年1月末)

事故の型別	墜落転落	転倒	激突	飛来落下	崩壊倒壊	突かれ	はね巻き	切れこすれ	踏み抜き	高温・低温の物との接	有害物質との接	感電	火災	交通事故	動作の反動	その他	合計
平成27年	4	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0) 9
平成28年	7	2	2	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	(0) 18

()内は、死亡の内数

平成27年・28年 全産業・建設業・署別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成28年1月末)

監督署別	全 産 業							建 設 業							対前年増減数 (%)	対前年増減数 (%)	建設業 / 全産業 (%)
	平成27年			平成28年			増減数	平成27年			平成28年			増減数			
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計				
広島中央	0	29	29	0	27	27	-2	0	3	3	0	5	5	2	66.7	18.5	
呉	0	14	14	0	8	8	-6	0	1	1	0	1	1	0	0.0	12.5	
福山	1	10	11	1	21	22	11	0	1	1	0	3	3	2	200.0	13.6	
三原	0	6	6	0	8	8	2	0	1	1	0	1	1	0	0.0	12.5	
尾道	1	9	10	0	12	12	2	0	1	1	0	2	2	1	100.0	16.7	
三次	0	7	7	0	11	11	4	0	0	0	0	2	2	2		18.2	
広島北	0	7	7	0	17	17	10	0	1	1	0	3	3	2	200.0	17.6	
廿日市	0	7	7	0	8	8	1	0	1	1	0	1	1	0	0.0	12.5	
合計	2	89	91	1	112	113	22	0	9	9	0	18	18	9	100.0	15.9	

平成27年度講習計画

(平成28年3月末までの計画)

建設業労働災害防止協会広島県支部

建設工事に従事する労働者の
ための安全衛生教育
「建設従事者教育」(6時間)
*要請により、随時実施(支部)

特別教育等の日程

職長等各種教育の日程

足場の組立て等(3時間)	実施場所	受付分会	職長・安全衛生責任者教育	実施場所	受付分会
3月13日	広島市	広島	3月16～17日	広島市	広島
23日	広島市	広島			

平成28年度講習計画

(平成28年4月～平成28年6月末までの計画)

作業主任者技能講習の日程

足場の組立て等	実施場所	担当分会	地山の掘削及び土止め支保工	実施場所	担当分会	型枠支保工の組立て等	実施場所	担当分会
4月19～20日	広島市	広島	4月19～21日	三次市	三次	5月17～18日	三次市	三次
5月24～25日	福山市	福山	5月17～19日	呉市	呉	6月2～3日	福山市	福山
			6月21～23日	広島市	広島			
建築物等の鉄骨の組立て等	実施場所	担当分会				酸欠・硫化水素危険	実施場所	担当分会
6月9～10日	広島市	広島				6月17～18・20日	広島市	支部

特別教育等の日程

足場の組立て等(3時間)	実施場所	受付分会	低圧電気取扱業務	実施場所	受付分会	刈払機取扱作業	実施場所	受付分会
5月20日	広島市	広島	4月26日	広島市	広島	4月15日	三原市	三原
24日	呉市	呉	5月13日	福山市	福山	5月10日	福山市	福山
6月6日	福山市	福山				6月14日	三次市	三次
24日	広島市	広島						
足場の組立て等(6時間)	実施場所	受付分会	巻き上げ機(ウインチ)運転	実施場所	受付分会	自由研削砥石取替え等業務	実施場所	受付分会
4月21日	広島市	広島	4月25日	広島市	広島	6月28日	広島市	広島
5月17日	福山市	福山						

職長等各種教育の日程

職長・安全衛生責任者教育	実施場所	受付分会	現場管理者統括管理	実施場所	受付分会	熱中症予防指導員	実施場所	受付分会
4月25～26日	福山市	福山	5月30日	広島市	広島	4月20日	福山市	福山
5月12～13日	尾道市	尾道	6月10日	呉市	呉	5月24日	広島市	広島
25～26日	広島市	広島	16日	福山市	福山	6月15日	広島市	広島
5月31日～6月1日	三次市	三次				23日	福山市	福山
足場能力向上教育	実施場所	受付分会	足場能力向上教育 足場点検実務者研修	実施場所	受付分会	新総合工事業者のリスクアセスメント	実施場所	受付分会
6月21日	福山市	福山	6月16日	広島市	広島	6月29日	広島市	広島

* 詳細につきましては、支部及び各分会にお問い合わせください。

なお、定数に満たない場合は中止、または、延期する場合があります。

建災防広島県支部 (082) 228 - 8250

広島県支部各分会

広島分会 (082)228 - 8252
呉分会 (0823)22 - 6886
福山分会 (084)924 - 4320

三原分会 (0848)63 - 9920
尾道分会 (0848)22 - 8918

三次分会 (0824)62 - 4391
廿日市分会 (0829)31 - 0196

ホームページアドレス

建災防広島県支部
建災防広島県支部広島分会
建災防広島県支部福山分会
建災防広島県支部三次分会

<http://www.jcosha-hiroshima.jp/>
<http://www.jcosha-hiroshima.jp/hirosimabunkai/>
<http://fukubun.sakura.ne.jp/>
<http://ww7.enjoy.ne.jp/~kfm62/>